

令和6年（2024年）アライグマ春期捕獲推進期間における実施状況

1 春期捕獲推進期間について

アライグマを効果的に捕獲するため、平成27年度（2015年度）から、アライグマの出産・授乳期で餌を求めて活動が活発となる4～6月を「春期捕獲推進期間」として設定し、市町村へ積極的な捕獲を呼びかけてきた。

また、平成30年度（2018年度）に実施した「アライグマ対策に関する市町村実態調査」で、3月の捕獲数は4月と同程度であることが判明したため、平成31年（2019年）から推進期間を1か月早めることにより更なる捕獲効果の向上を図ってきた。

この度、「令和6年アライグマ春期捕獲推進期間に係る捕獲等実績調査」により市町村から提供された捕獲頭数等の情報を基に、令和6年（2024年）の春期捕獲推進期間中（3～6月）の取組状況を次のとおり取りまとめた。

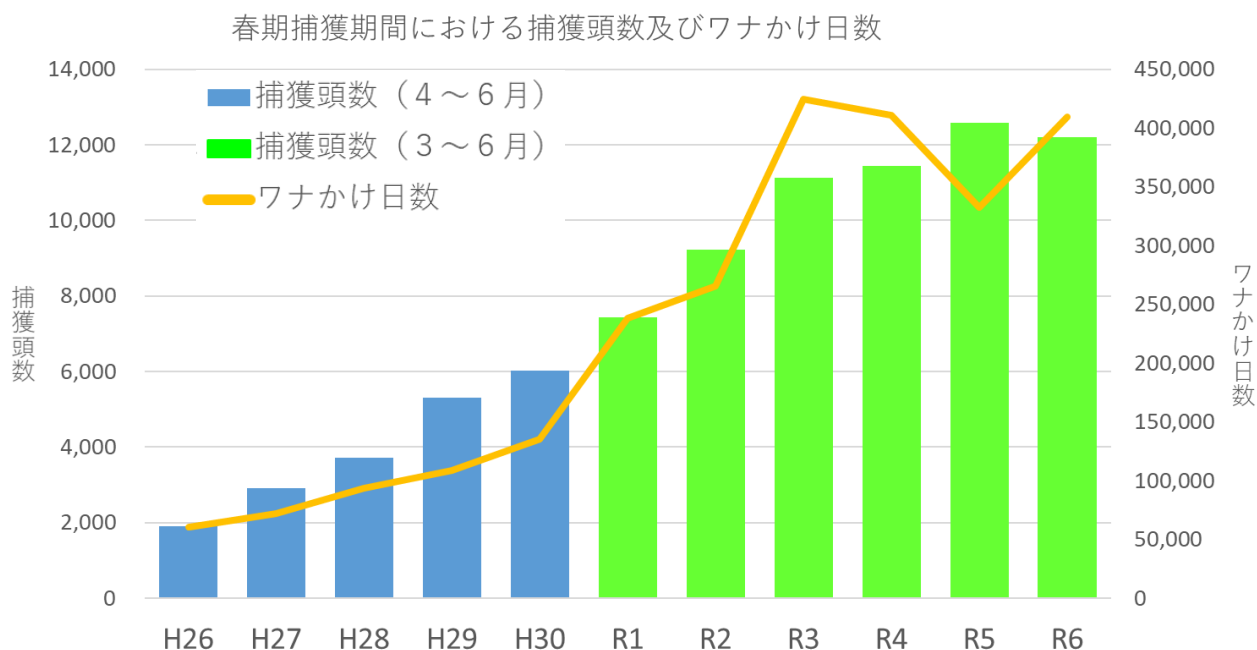
2 結果

（1）実施状況及び結果（全道）

- ・ 昨年のワナかけ日数は2年連続の減少となり、前年の約8割と大きく減少したが、本年については前年より約2割増加した。
- ・ 捕獲頭数は開始年より継続する増加傾向を維持していたが、本年は昨年より371頭ほど減少し、12,206頭となった。
- ・ 平成26年（4～6月）と比較すると、本年のワナかけ日数は6.7倍、捕獲頭数は6.3倍であった。

年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
捕獲頭数	1,912	2,904	3,705	5,306	6,013	7,429	9,217	11,123	11,443	12,577	12,206
ワナかけ日数	60,681	71,995	93,559	108,733	135,042	238,136	265,403	424,785	410,626	332,467	409,183

※ H26～H30は4～6月、R1以降は3～6月の実績

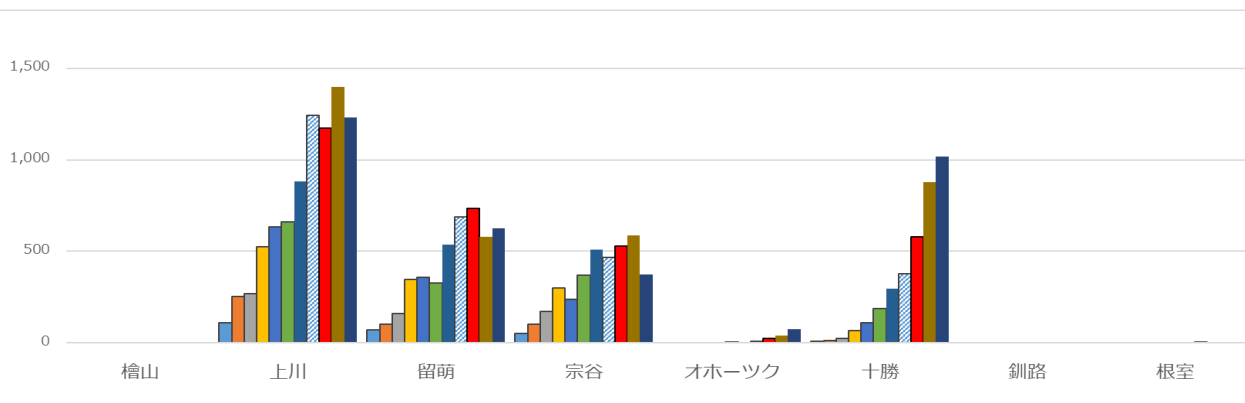
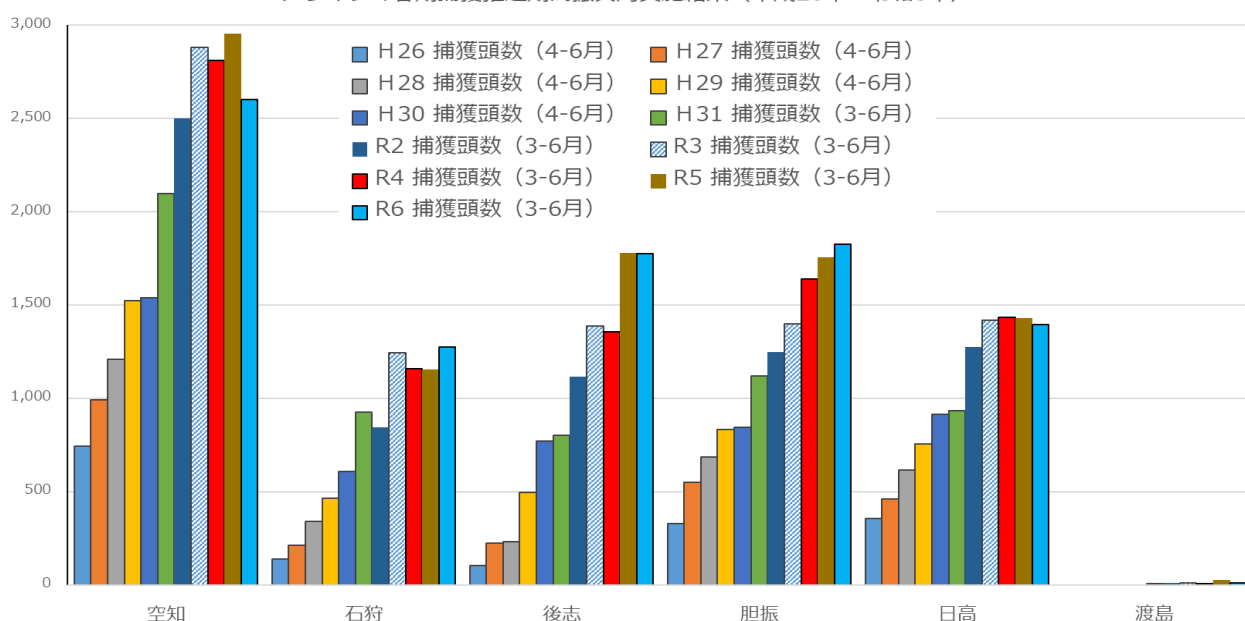


(2) 実施状況及び結果 (振興局別)

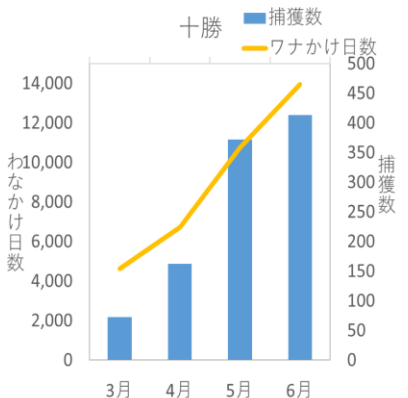
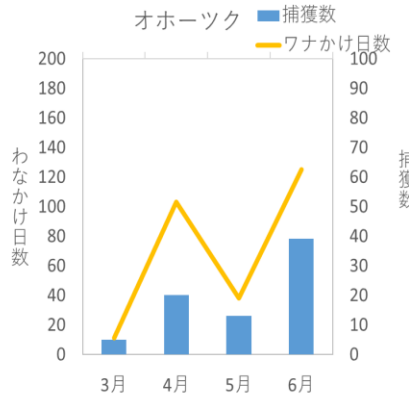
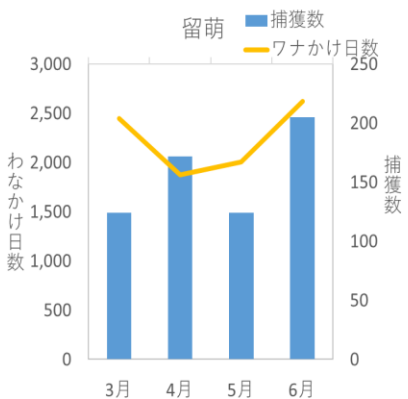
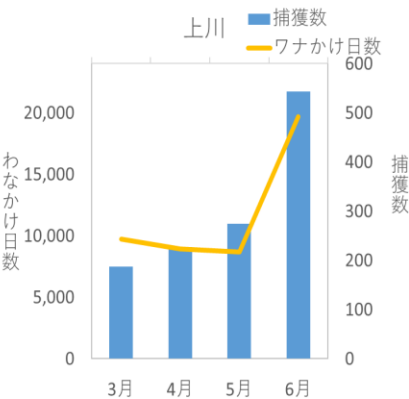
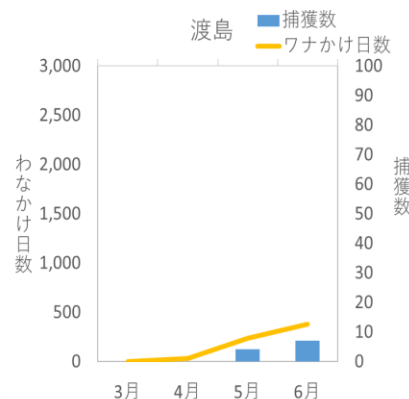
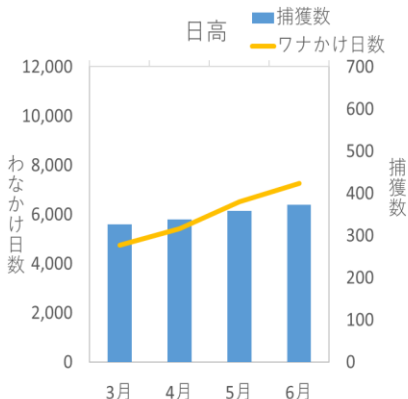
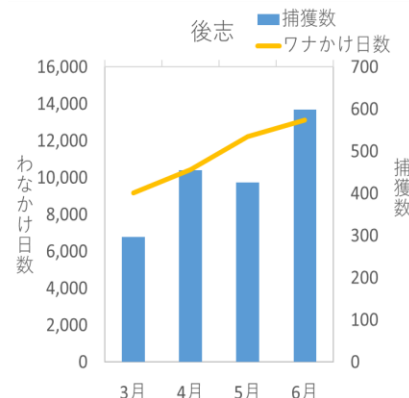
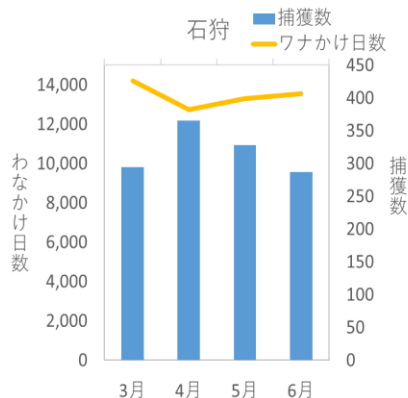
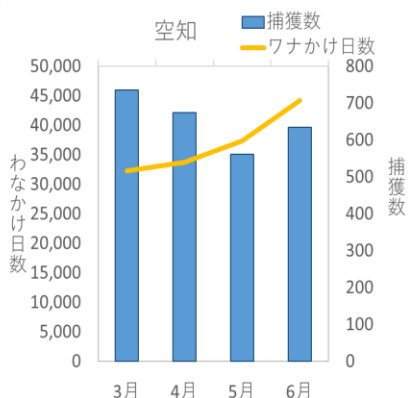
- ・本年は 11 の (総合) 振興局管内で実施され、空知、石狩、後志、胆振、日高、上川、宗谷、留萌及び宗谷では管内の全ての市町村 (離島除く) で実施された。
- ・ワナかけ日数の前年比減少率が特に高かったのは渡島、胆振、オホーツク、増加率が最も高かったのは宗谷であった。
- ・捕獲頭数について、前年比での増加が顕著だったのは、石狩及び十勝であった。

	R5			R6			前年差 (R6-R5)			前年比 (R6/R5)	
	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	ワナかけ日数	捕獲数
空知	24	103,457	2,953	23	147,363	2,602	▲ 1	43,906	▲ 351	142%	88%
石狩	8	38,632	1,155	8	53,777	1,274	0	15,145	119	139%	110%
後志	20	42,632	1,779	20	44,917	1,775	0	2,285	▲ 4	105%	100%
胆振	11	35,719	1,754	11	29,973	1,826	0	▲ 5,746	72	84%	104%
日高	7	23,790	1,431	7	23,935	1,393	0	145	▲ 38	101%	97%
渡島	2	3,819	25	4	641	11	2	▲ 3,178	▲ 14	17%	44%
檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上川	23	51,897	1,397	23	47,001	1,231	0	▲ 4,896	▲ 166	91%	88%
留萌	8	6,197	580	8	8,943	625	0	2,746	45	144%	108%
宗谷	7	7,185	586	7	16,352	373	0	9,167	▲ 213	228%	64%
オホーツク	3	453	39	6	277	77	3	▲ 176	38	61%	197%
十勝	16	18,686	878	16	36,004	1,019	0	17,318	141	193%	116%
釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	129	332,467	12,577	133	409,183	12,206	4	76,716	▲ 371	123%	97%

アライグマ春期捕獲推進期間振興局実施結果 (平成26年~令和6年)



- ・空知、後志、胆振、留萌、宗谷、オホーツクでは、捕獲数が5月に一度減少したのち6月には回復するという傾向で一致していた。
- ・ワナかけ日数は、多くの（総合）振興局で月が進むにつれて増加する傾向がみられた。
- ・4月以降はほとんどの振興局で、ワナかけ日数と捕獲数が比例して増加する傾向がみられた。

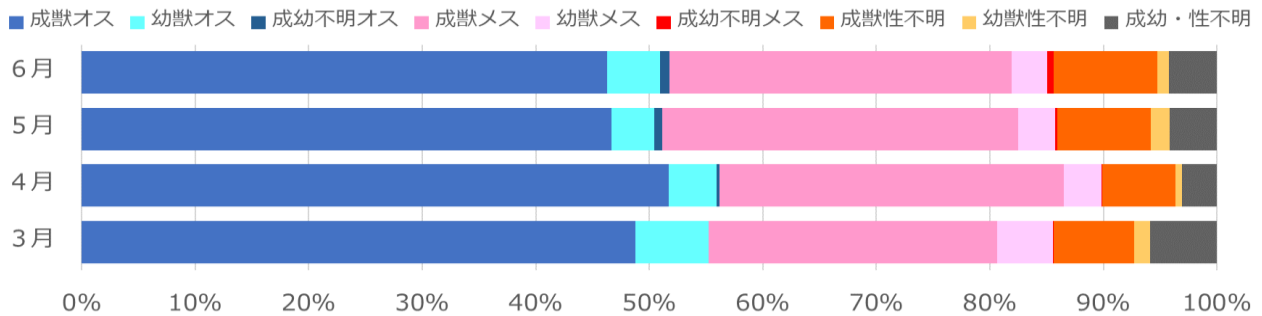


(3) 捕獲個体内訳

- ・成獣の場合、捕獲数の少ないオホーツクを除き、オスの捕獲数はメスの1.4～2倍程度であったが、幼獣ではその差はより小さかった。
- ・性判別率は、45%～100%と振興局によって大きな差があり、全道平均では84%であった。
- ・成獣・幼獣の判別率は、概ねどの振興局も高く、全道平均では88%であった。
- ・性別でみると、季節が進むにつれてオスの割合が減少する傾向が認められた。

振興局	内訳別捕獲頭数									合計	性判別率	成幼判別率
	成獣			幼獣			成幼不明					
	オス	メス	不明	オス	メス	不明	オス	メス	不明			
空知	1,305	826	114	166	146	45	0	0	0	2,602	94%	100%
石狩	639	443	3	33	31	16	0	0	109	1,274	90%	91%
後志	965	483	131	86	52	13	0	0	45	1,775	89%	97%
胆振	698	500	64	111	114	9	5	5	320	1,826	78%	82%
日高	783	414	135	43	18	0	0	0	0	1,393	90%	100%
渡島	1	0	0	0	0	0	4	6	0	11	100%	9%
檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上川	622	381	42	76	34	0	24	17	35	1,231	94%	94%
留萌	257	177	143	15	16	17	0	0	0	625	74%	100%
宗谷	208	120	0	20	20	5	0	0	0	373	99%	100%
オホーツク	20	15	29	0	0	13	0	0	0	77	45%	100%
十勝	387	245	294	23	5	21	27	5	12	1,019	68%	96%
釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	5,885	3,604	955	573	436	139	60	33	521	12,206	87%	95%

月別の捕獲個体内訳割合



区分	3月		4月		5月		6月		合計	
成獣オス	1,182	(49%)	1,569	(52%)	1,394	(47%)	1,740	(46%)	5,885	(48%)
幼獣オス	156	(6%)	127	(4%)	113	(4%)	177	(5%)	573	(5%)
成幼不明オス	1	(0%)	8	(0%)	20	(1%)	31	(1%)	60	(0%)
成獣メス	616	(25%)	919	(30%)	937	(31%)	1,132	(30%)	3,604	(30%)
幼獣メス	118	(5%)	101	(3%)	98	(3%)	119	(3%)	436	(4%)
成幼不明メス	3	(0%)	2	(0%)	6	(0%)	22	(1%)	33	(0%)
成獣不明	171	(7%)	196	(6%)	246	(8%)	342	(9%)	955	(8%)
幼獣不明	34	(1%)	18	(1%)	49	(2%)	38	(1%)	139	(1%)
成幼・性不明	143	(6%)	93	(3%)	125	(4%)	160	(4%)	521	(4%)
合計	2,424		3,033		2,988		3,761		12,206	